

平成30年 水稻害虫トラップ情報（7月下旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップによる第1世代の誘殺数は、青森では平年より多く、他の地点はほぼ平年並に推移しています（十和田では越冬世代の誘殺が早かったものの、以後の誘殺数はほぼ平年並）。

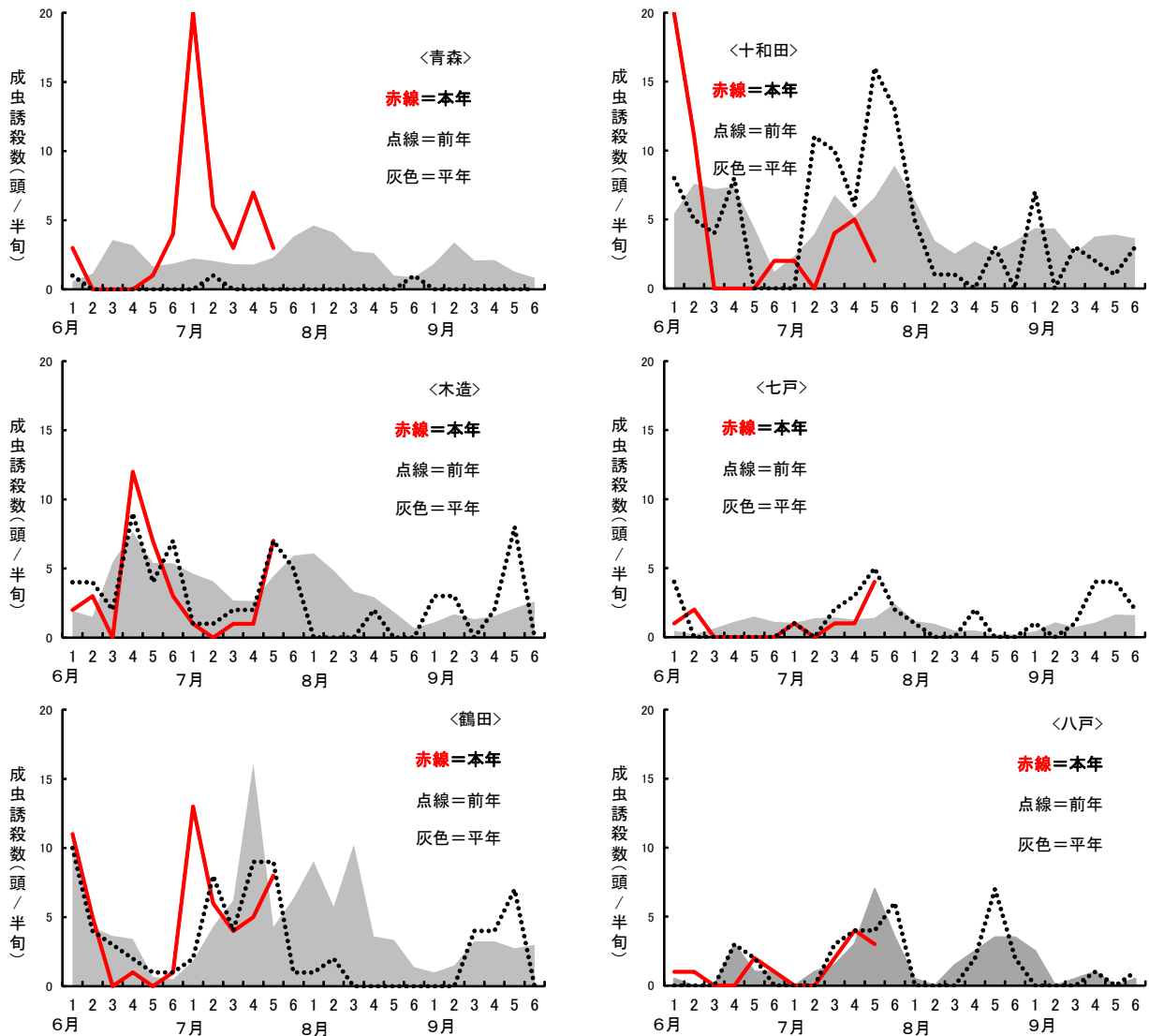


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数
 平年値は、青森8年、木造6年、鶴田4年、十和田10年、七戸9年、八戸2年の平均値

(2) 予察灯でのアカヒゲホソミドリカスミカメ第1世代の誘殺は6月下旬からみられ、7月5半旬までの誘殺数は青森では平年より多く、木造は平年よりやや少なく、十和田、八戸では7月第3～5半旬の誘殺数は平年を上回っています。

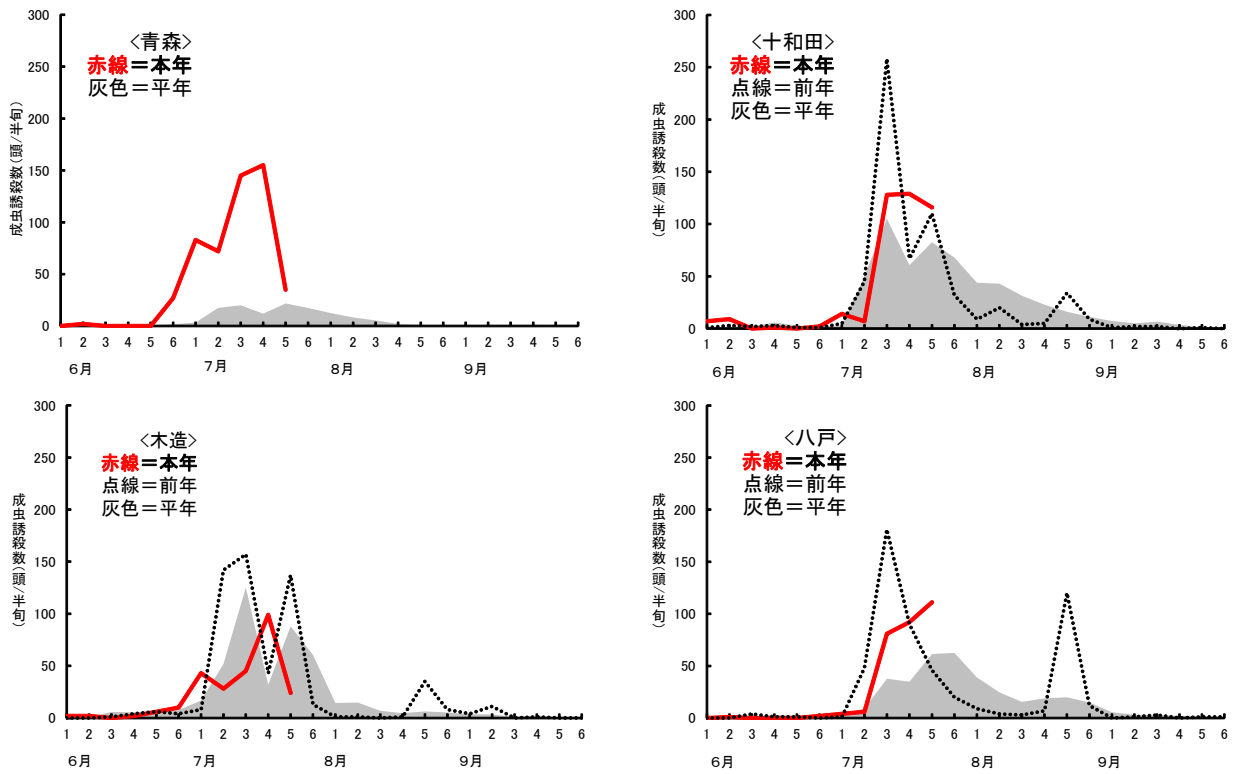


図2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数
(青森は前年値なし)

2 アカスジカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでの誘殺数は、青森と木造で平年よりやや多いほかは、ほぼ平年並に少なく推移しています。

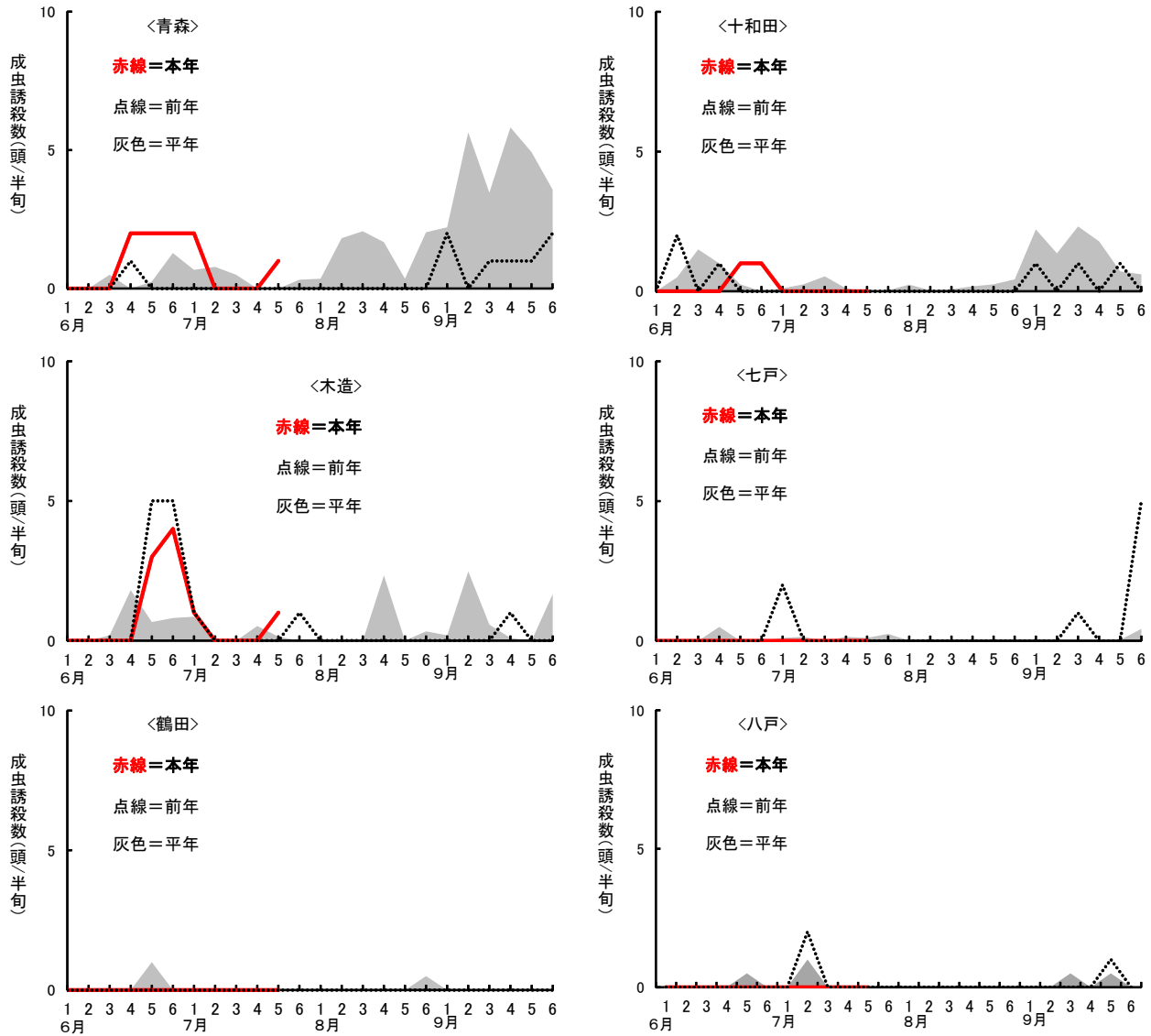


図3 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森5年、木造4年、鶴田3年、十和田5年、七戸5年、八戸2年の平均

(2) 予察灯ではアカスジカスミカメ第1世代と考えられる誘殺が、平年より早い6月下旬から見られ、青森は平年より多く、木造、十和田ともにこの時期の誘殺数は平年よりやや多くなっています。八戸では7月中旬に1頭誘殺されただけです。

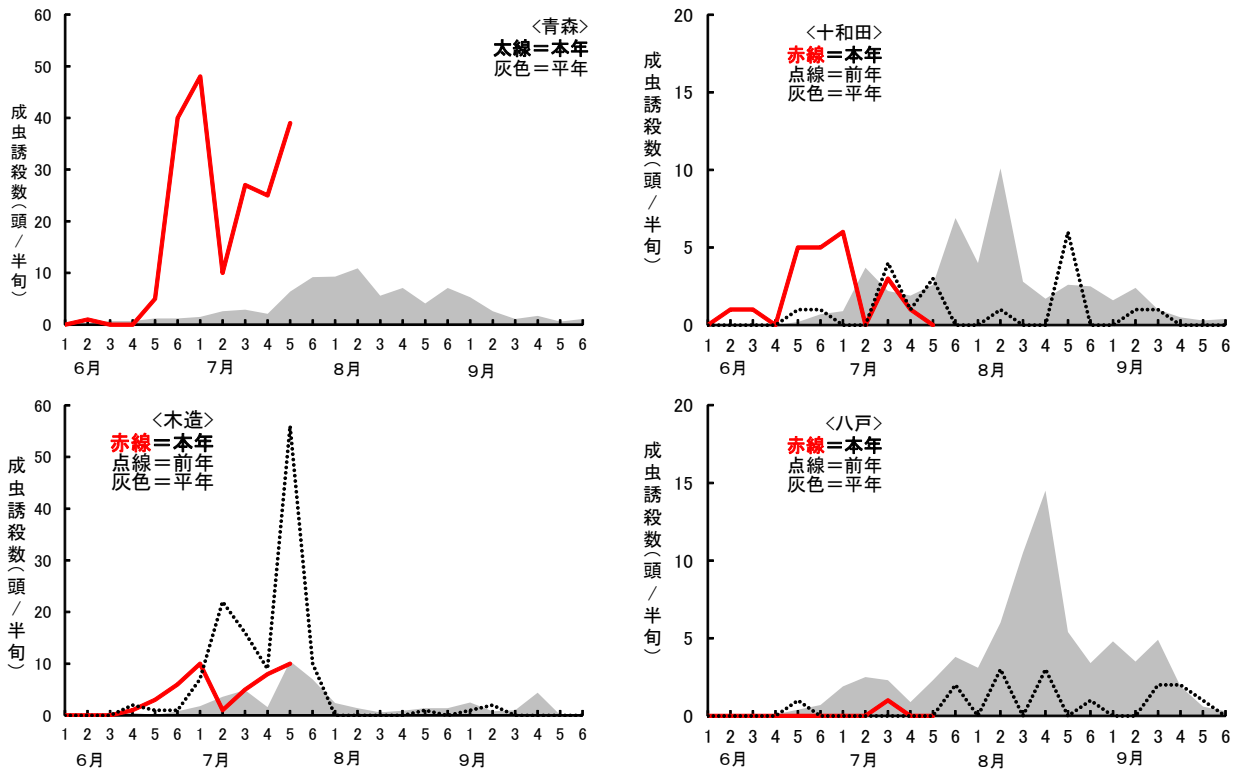


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数
(青森は前年値なし)

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第1世代の誘殺時期は6月下旬～7月上旬で、誘殺数は津軽地域は平年より多く、八戸で平年よりやや多く、十和田、七戸では平年より少なく推移しています。津軽地域では第2世代の誘殺が始まっています。

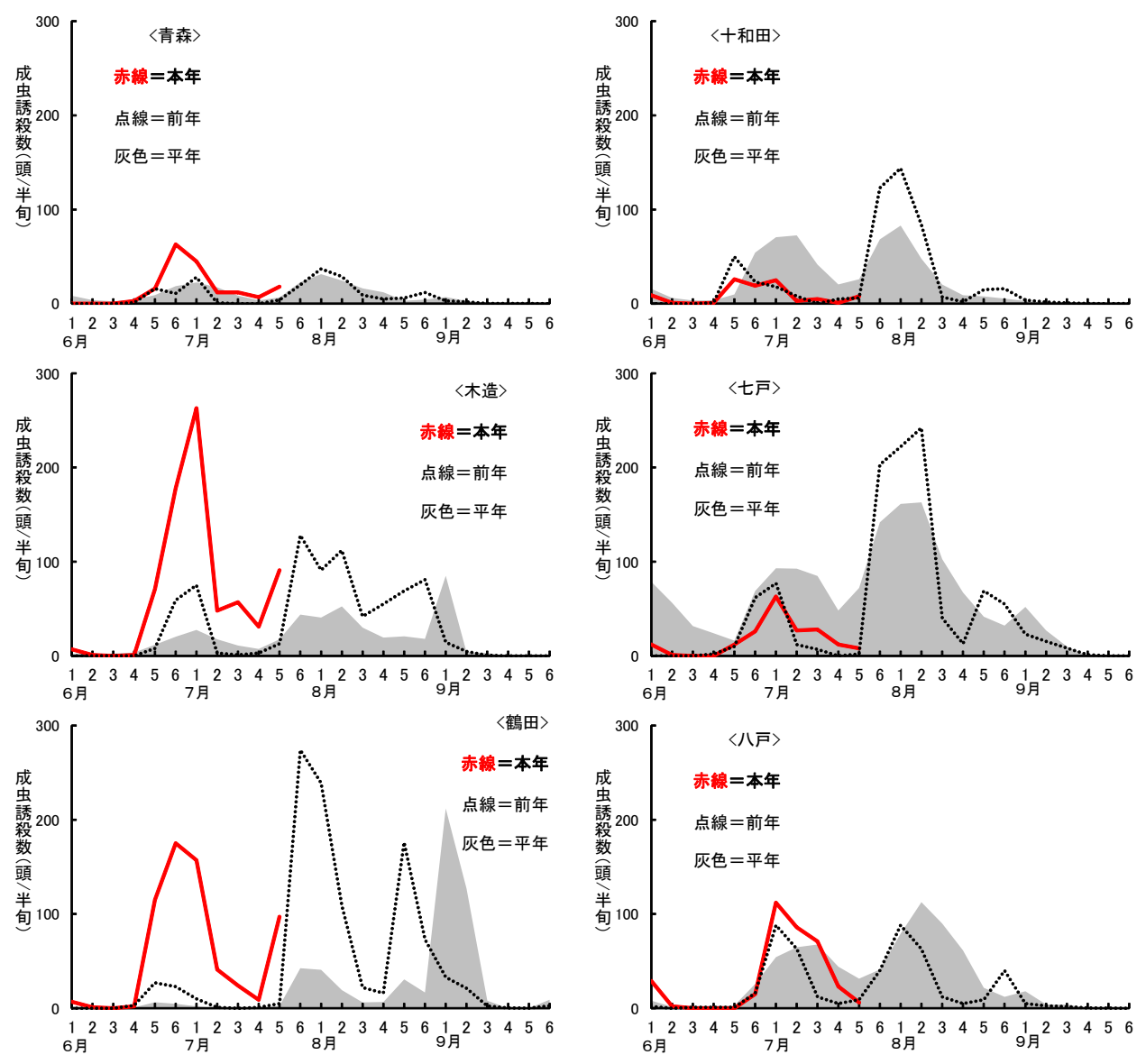


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数
 平年値は、各地点9年の平均

(2) 予察灯でのフタオビコヤガ第1世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に6月下旬～7月上旬にみられ、誘殺数は津軽は平年より多く、県南では平年並～やや少なく推移しています。津軽地域では第2世代の誘殺が始まっています。

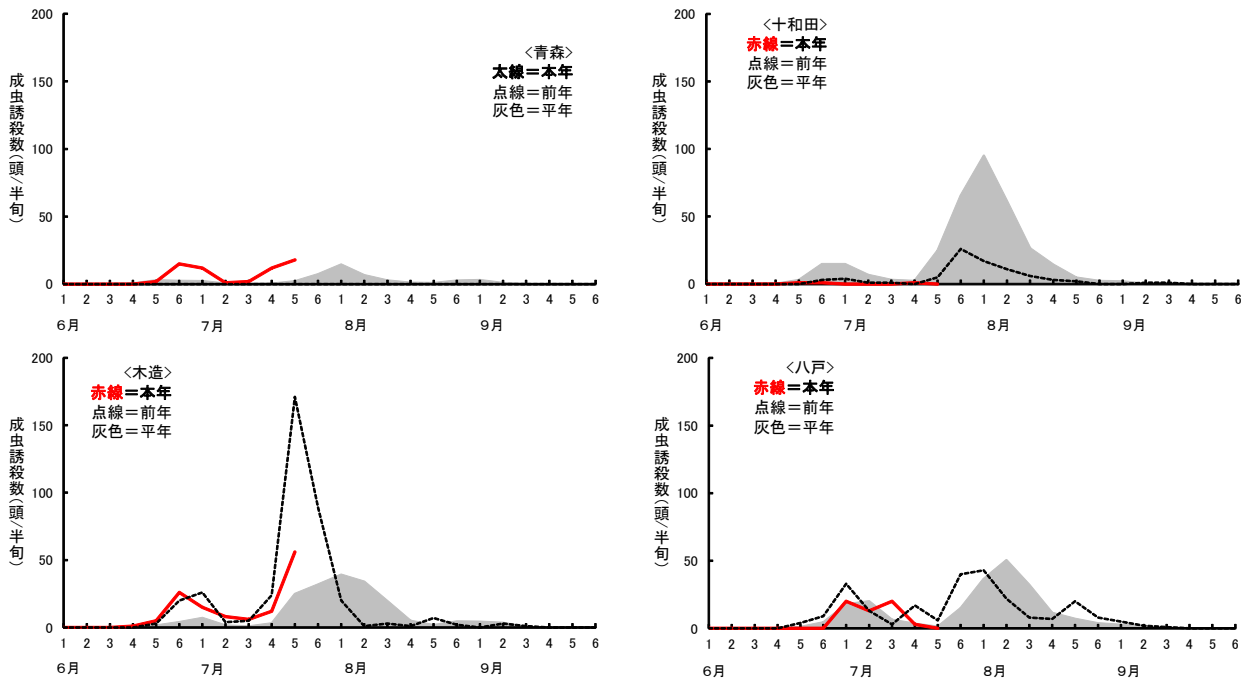


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数
(青森は前年値なし)

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-19001 担当：市田